

東部地域を知る



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

● 東部まちづくりワークショップの進め方

● 東部地域の現状

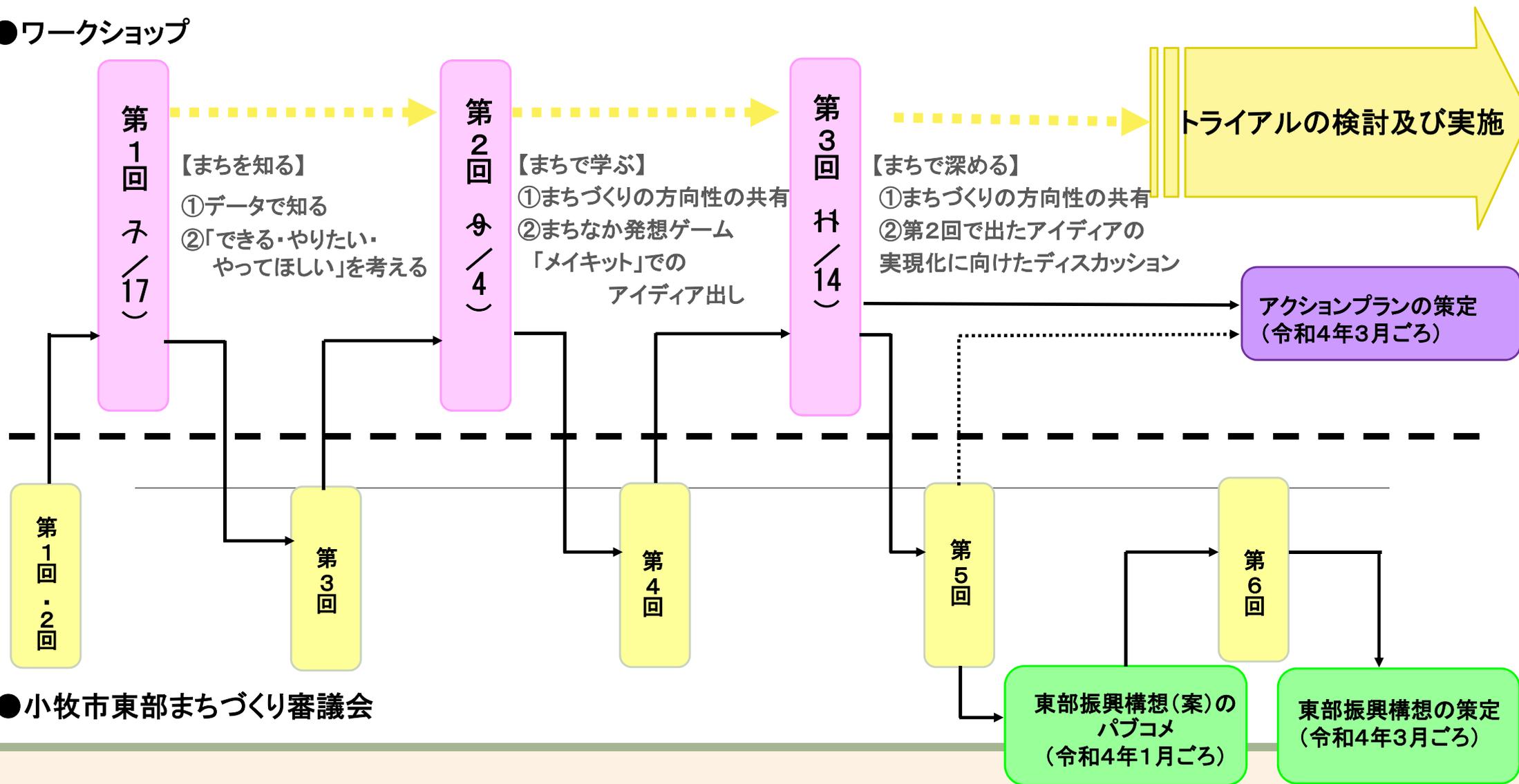
- 東部地域のイメージ
- 東部地域の人口
- 東部地域の住民活動

● 東部地域の今後

- これまでの議論と方向性

ワークショップの流れ

●ワークショップ



●小牧市東部まちづくり審議会

【テーマ】

● 構想策定に伴うテーマ **【ワークショップ】**

第1回 まちを知る

- ①データで知る
- ②「できる・やりたい・やってほしい」を考える

第2回 まちで学ぶ

- ①まちづくりの方向性の共有
- ②まちなか発想ゲーム
「メイキット」でのアイデア出し

第3回 まちで深める

- ①まちづくりの方向性の共有
- ②第2回で出たアイデアの実現化に向けたディスカッション

● 取組実施(トライアル実施)に伴うテーマ **【プラットフォーム】**

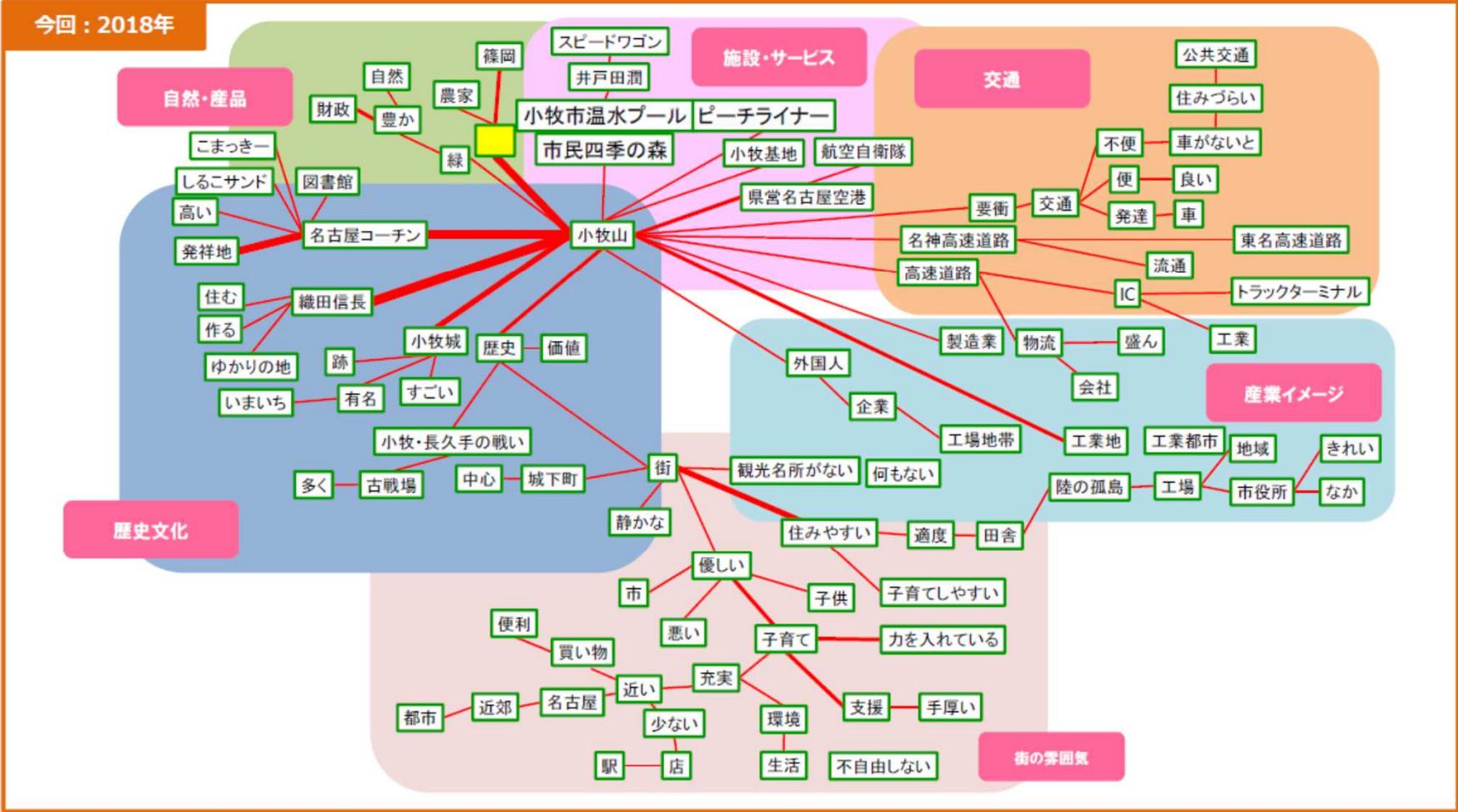
**プロジェクトの
具現化(1)**

**プロジェクトの
具現化(2)**

**プロジェクトの
具現化(3)**

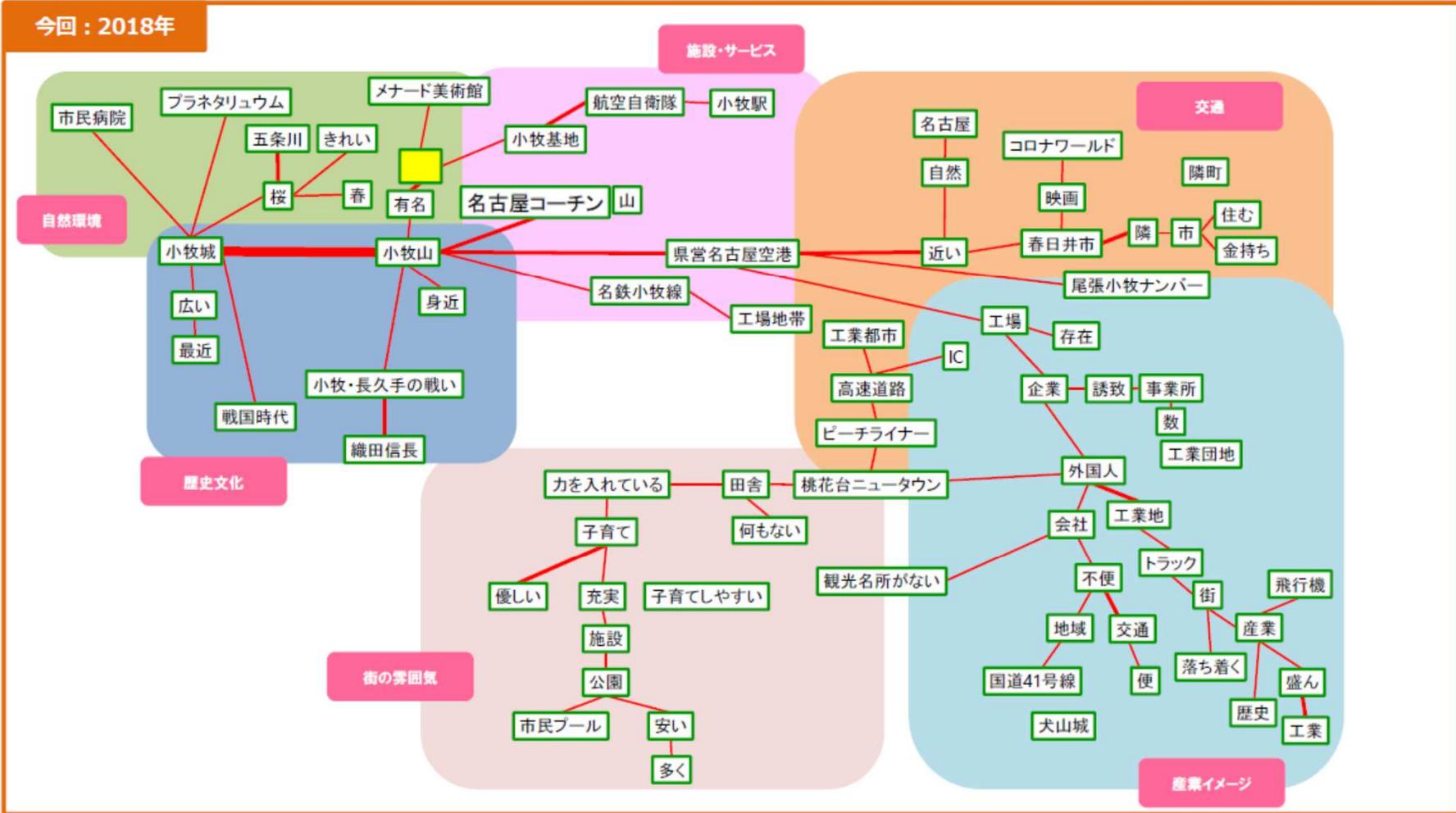
プレゼン
(トライアルの結果報告)

市民・市外の人がイメージする東部地域(小牧市民)



資料：H30 地域ブランド調査

市民・市外の人がイメージする東部地域(春日井市民)



資料：H30 地域ブランド調査

■市民・市外の人がイメージする東部地域

問題1

スライド1・2の黄色で塗りつぶしてある東部地域に
由来のある地域資源はなんでしょう??

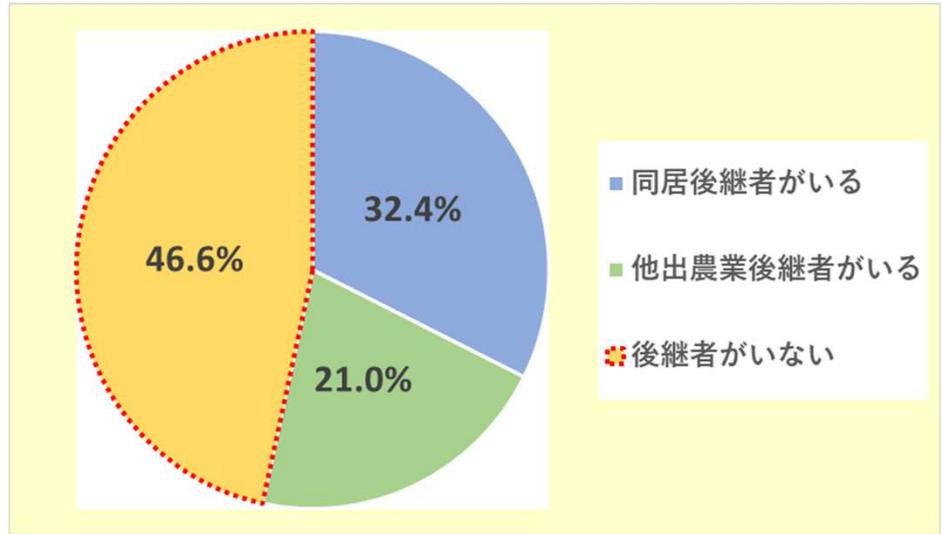
市民・市外の人がイメージする東部地域

答え 桃

●東部地域(篠岡地区)の農家は、後継者問題を抱えている。

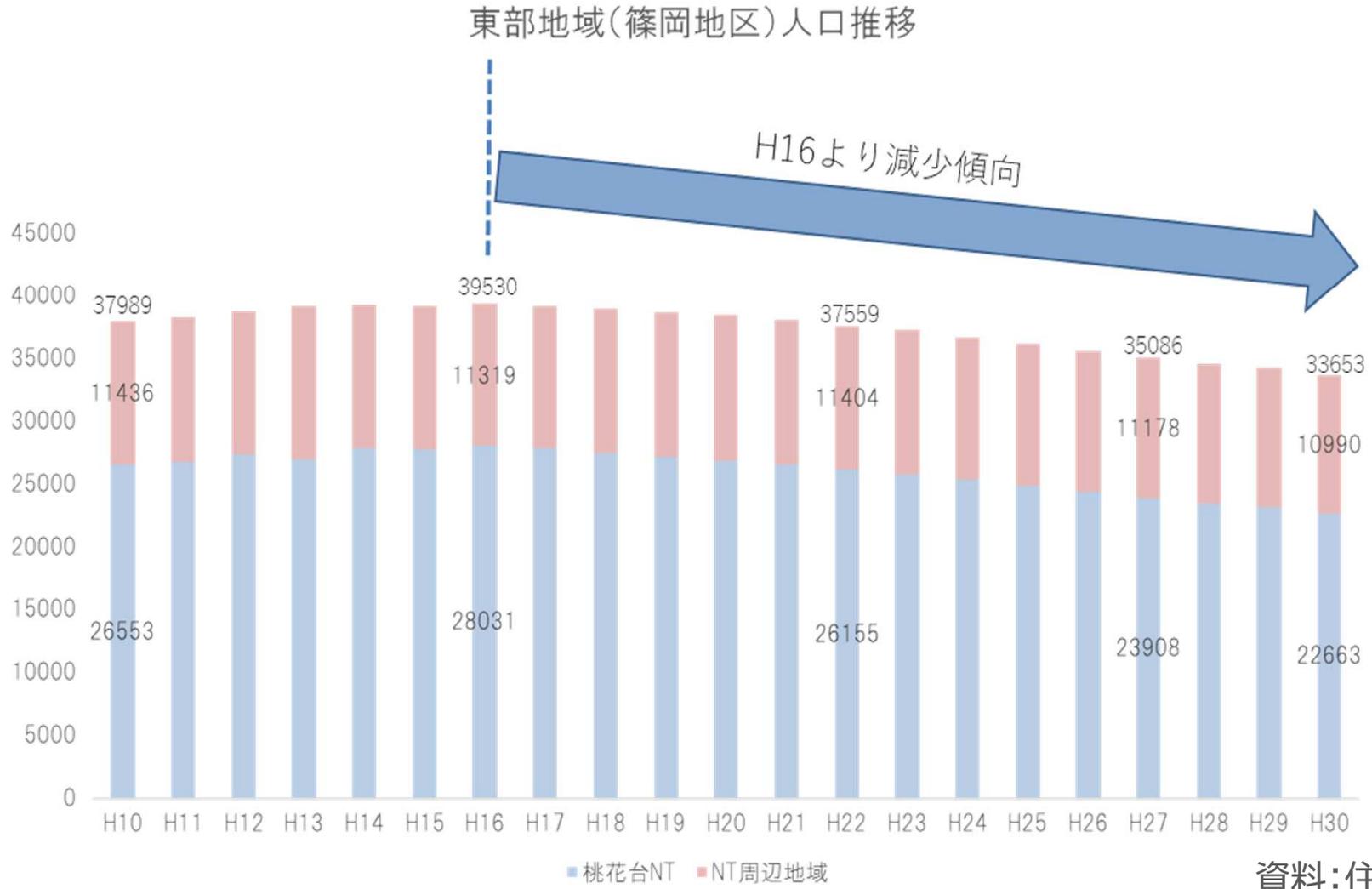
(戸)

	総 農 家			土地持ち非農家
		販売農家	自給的農家	
市全域	1279	402	877	892
小牧地区	377	91	286	279
味岡地区	232	58	174	153
篠岡地区	413	176	237	253
北里地区	257	77	180	207



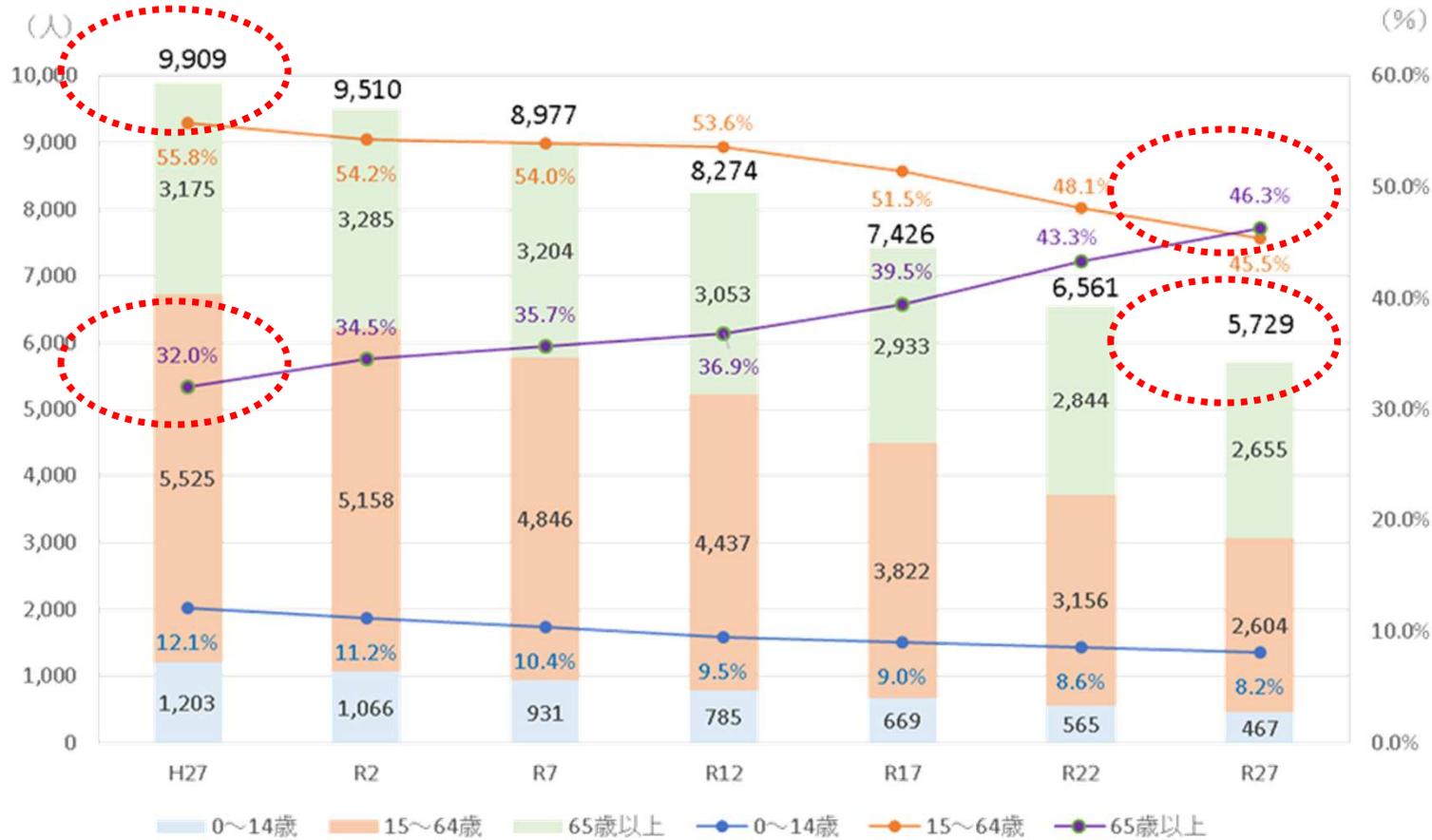
資料：農林業センサス2015

東部地域の人口推移



資料:住民基本台帳

東部地域の人口（推計（既存集落《桃花台以外》））

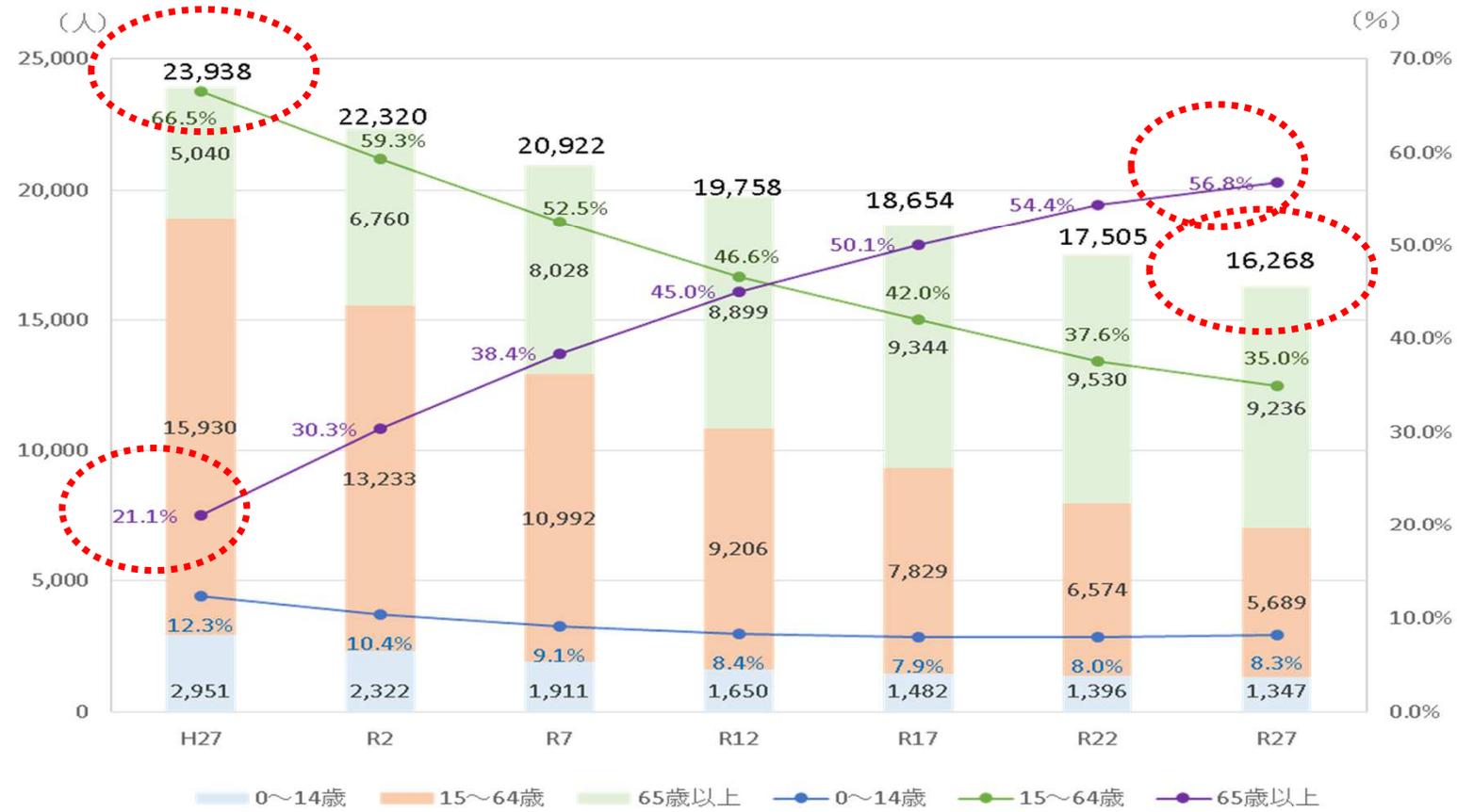


◆ 4,180人の減少 (H27→R27)

◆ 高齢化率 14.3ポイントの上昇 (H27→R27)

資料:住民基本台帳

東部地域の人口(推計【桃花台】)



◆ 7,670人の減少 (H27→R27)

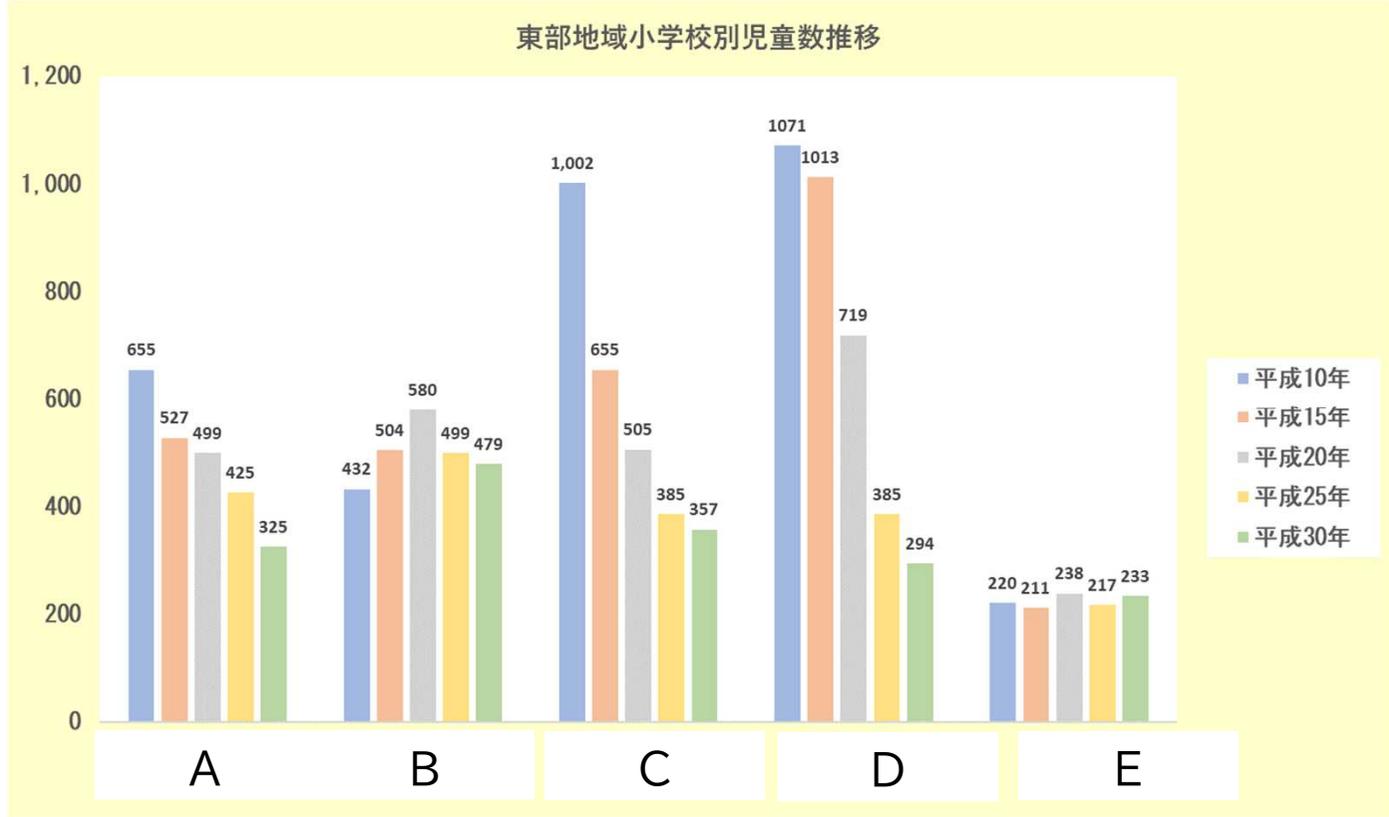
◆ 高齢化率 35.7ポイントの上昇 (H27→R27)

資料:住民基本台帳

東部地域の人口(児童数)

問題2

A・B・C・D・E に入る小学校名で正しい組み合わせはどちらでしょうか。



- ①
- A 篠岡小学校
 - B 桃ヶ丘小学校
 - C 光ヶ丘小学校
 - D 大城小学校
 - E 陶小学校

- ②
- A 陶小学校
 - B 桃ヶ丘小学校
 - C 大城小学校
 - D 光ヶ丘小学校
 - E 篠岡小学校

■東部地域の人口(児童数)

答え ①

●桃花台ニュータウンから通う児童数は、かなり減少している。

このままでは、小・中一貫校や学校の統廃合を、
将来検討する時期が来るかも……

でも、ポジティブに考えれば、少人数であるがゆえに、
ゆとりある教育環境に寄与している一面もあるのかも……

■東部地域の住民活動

❖ 桃花台まつり

▶場 所:桃花台中央公園

▶時 期:7月下旬から8月上旬の
土・日(2日間)

(昭和62年に第1回が行われ令和元年現在で第33回)

▶主 催:桃花台区長会

(桃花台まつり令和元年現在で第33回実行委員会)

▶代 表:小柳松夫実行委員長

▶後 援:篠岡地区区長会、中日新聞社



■東部地域の住民活動

問題3

桃花台まつりは、地域住民主体で行われる小牧市のなかでも最大級のお祭りです。

桃花台ニュータウンの人口は、約2万2千人ですが、お祭り2日間で来場される延べ人数は、以下のどれでしょう？

- ①5千人 ②1万人 ③2万人 ④4万人

答え ④

●桃花台ニュータウンの人口の約2倍の人が、
このお祭りに来場しています。

中学生が、ボランティアで協力していて、世代間の交流があるのも
このお祭りのいいところ。

しかし、このお祭りも、担い手が高齢化しており、
将来の人材不足などの課題が・・・

東部地域の住民活動(その他)

❖ 桃花台を考える会

- ▶ 活動開始年 2015年
- ▶ 活動目的 桃花台のまちの活力の維持
- ▶ 主な取組 桃花台音楽まつり
空家対策活動
 - ・講演会
 - ・セミナー
 - ・相談会



地域で考える空家をつくらないセミナーのご案内

2021年9月19日(日)
 13:30～15:00 (開場13:00)
 【場 所】 東部市民センター視聴覚室
 【参加費】 無料
 【定 員】 30名 (要事前申込)

ご自身の「目の黒いうち」に大切なわが家の将来をご家族と決めることが大切です。認知症対策も必要です。後悔しないための相続のポイントをわかりやすくお話しします。ふるってご参加ください！



後藤 明氏
CFP® (国際上級ファイナンシャルプランナー)

「相続問題をまるごと解決」する実家相続の生前対策サポートを行う専門家。
 「実家相続トラブルゼロ!」"トヨタ式"生前対策法"をベースに実家相続に関わるとともに、お金・各種手続き・法的対応～暮らし方や不動産の利活用などのトータルサポートを行っている。

空き家セミナーに参加をご希望の方は裏面参照の上、FAX・メール・お電話にてお申込みください。

※新型コロナウイルス等の感染予防・拡散防止のためご来場の際はご理解とご協力をお願いいたします。



主催：桃花台を考える会 小牧市
 後援：桃ヶ丘小学校区地域協議会

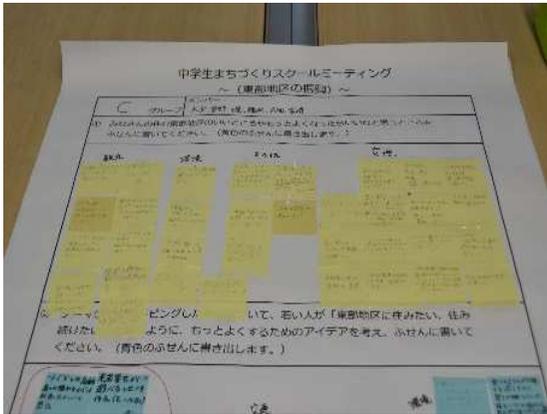
東部地域の住民活動(その他)

❖ 大山川ホタルの会

- ▶ 内容 ホタルの里周辺の浄化活動、ホタルの寝床づくり、ホタルまつりの開催
- ▶ 時期 浄化活動等(年中)、ホタルまつり(毎年6月上旬、令和元年現在第3回)
- ▶ 場所 ホタルの里



中学生タウンミーティング



- 日時 令和元年8月27日 午前9時15分から午前11時45分
- 場所 東部市民センター 講堂
- 参加者 篠岡・桃陵・光ヶ丘中学校生徒のみなさん 24名

■中学生タウンミーティング

問題4

中学生タウンミーティングでは、東部地域の良いところ、改善したいところについて、議論がされ、改善したい点として、街灯が少なく、夜道がこわいなどの意見が多くありました。

このタウンミーティングの後、実際にこの課題を中学生発案により、地元の地域協議会ぐるみで解決を図りました。

その取組は以下のどれでしょう??

- ①地域協議会に頼み、街灯を設置してもらった。
- ②地域協議会ぐるみで、地域住民の自宅の門灯をともし、安全な夜道を確保した。
- ③地域協議会から中学生に懐中電灯をプレゼントしてもらった。

中学生タウンミーティング

答え ②

中学生
スクールミーティングが、
きっかけで動き出し

中 日 新 聞 2020年(令和2年)3月12日(木曜)

小牧・篠岡地域 中学生の発案

門灯ともし安全な夜道



小牧市篠岡地域の住宅街で、暗い夜道を照らす「門灯点灯運動」が広がっている。「夜道が怖い」という地元中学生の思いをくんで、大人たちによる地域ぐるみの活動になった。運動が始まるきっかけをつくった一人で、篠岡中三年の荒木麻優花さん(も)は「家の前が明るくなるだけで全然違う」と感謝し喜んでいる。(水谷元海)

大人たちが協力
「街灯がない場所があって夜道が怖い」という中学生の声が点灯運動のそもそもの始まり。

篠岡、桃陵、光ヶ丘の三つの中学校の生徒二十四人が近くの東部市民センター(小牧市篠岡)に集まり、まちづくりのアイデアを出し合った昨年八月の「中学生まちづくりスクールミーティング」で声が出た。

「塾や部活で帰りが遅くなる日がある。午後十時ごろまで門灯をつけてほしい」。そんな中学生の願いを無にできないと動きだしたのが篠岡小学校区地域協議会の大人たちだ。「夜間は門灯を点灯させ、犯罪が起りにくい街にしましょう」と書いたちらしを作り、回覧して住民に協力を促した。

協議会役員で小牧市林区長の高田良さん(み)は「私たちの世代にはない斬新な発想」と点灯を発案した中学生を評価する。「明るくなれば空き巣対策にもなるはず」とさらなる効果も期待した。

二月中旬の夕暮れ、林地区の住宅街で荒木さんら中学生三人もちらしを配った。生徒らの訪問を受けた主婦前倉由香さん(み)は「確かに夜は真っ暗になるので協力したい。子どもたちが地域のことを考えてくれるのは誇らしい」と話していた。

地域の家庭にちらしを配って協力を呼び掛ける生徒(小牧市林で)

これまでの議論

これまで戦略会議を4回と審議会を2回開催し、まちづくり5原則(まちづくりのポイント)やまちの将来像、ヴィジョンなどについて議論を行いました。



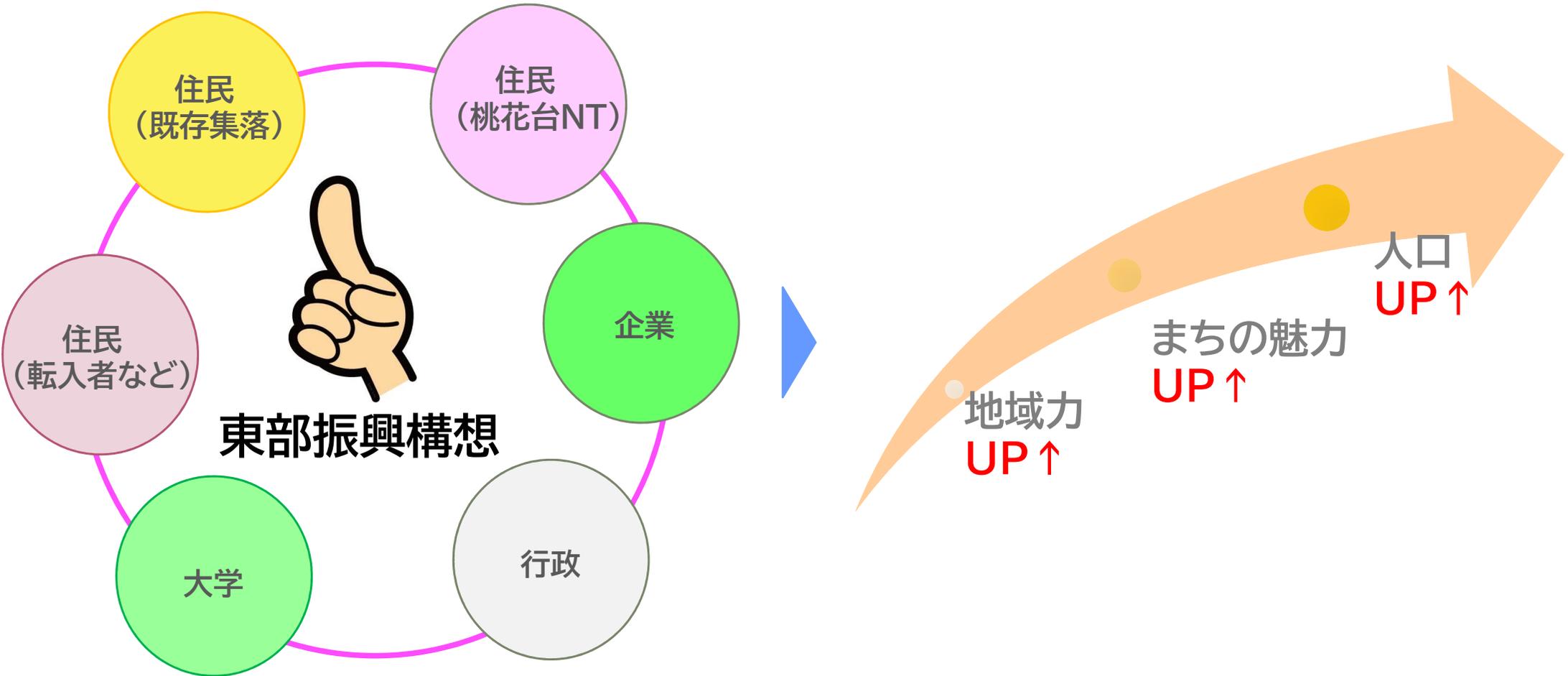
パネルディスカッション 東部地域のまちづくりを語ろう
第3回東部まちづくり戦略会議



第1回小牧市東部まちづくり審議会

東部振興構想の必要性

東部地域に関係する人が同じ方向でまちづくりを行い、持続的に発展するまちとしていくため、東部振興構想を策定しています。



まちづくり5原則(東部まちづくりの5つのポイント)

【一体性】
東部地域一体でのまちづくり

それぞれのコミュニティが協力・連携することが大切

既存集落 桃花台NT

産業(企業)

【自立性】
地域住民による自立したまちづくり

取組をスタートアップしてから一定期間後は行政支援から自立した地域住民による取組

持続した取組とするためにも、自立していく視点が重要！！

【多様性・活用性】
多様な地域資源を連携・活用したまちづくり

生活課題を克服することで「新たなまちの魅力」に転換する意識を醸成する。

多様な人材資源、多様な地域資源を組み合わせ、地域課題を解決する視点、地域の魅力Upさせる視点が重要！！

【柔軟性・可変性】
柔軟性・可変性を持ったまちづくり

将来を見据え、長期的・短期的な課題に柔軟かつ可変的に対応する。

時代の流れやその時々の問題・課題に対応しつつ、長期的な将来を見据えて、**柔軟性や可変性を持って**対応していくことが必要！！

【将来性】
チャレンジをサポートするまちづくり

市民や関係する人たちが、それぞれの夢への挑戦を応援する仕組みをはじめ、将来が魅力あるまちとなるような仕組みを構築する。

東部振興構想(まちの将来像、ビジョン、取組方針)の素案

まちの将来像
人がつながり、支え合い、地域が一体となってチャレンジし続けるまち

ビジョン1
多様な世代が暮らし続けられる環境の整備

【取組方針1-①】
高齢者が安心して暮らせる環境の整備

【取組方針1-②】
子育て世代にとって魅力ある環境の整備

【取組方針1-③】
こどもが地元愛を育める環境の整備

ビジョン2
多様な職業が共存し、持続できる環境の整備

【取組方針2-①】
地域の生業が持続・活性化する環境整備

【取組方針2-②】
新たな地域ビジネスの創出

【取組方針2-③】
外から進出しやすい、進出したくなる環境整備

ビジョン3
訪れたいくなる、住みたいくなる魅力の創造

【取組方針3-①】
地域資源の魅力の向上及び発信の強化

【取組方針3-②】
アットホームな雰囲気のあるまちの創出

基盤/体制
まちを育む体制の構築

【方向①】人と人がつながる仕組みの構築

【方向②】地域住民などの自立した活動を促進する仕組みの構築

ご清聴ありがとうございました。

